

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方針
○いきいき挨拶し、ふわふわ言葉で相手を尊重できる子ども ○もくもくと最後まで掃除をし周りを意識できる子ども ○こつこつと意欲をもって学習を積み重ねる子ども		確かな学力の定着	指導法の改善・教員の資質向上、読書を増やし基礎学力を定着させる取組
		自尊感情の向上	自己肯定感を高めるために全校表彰と人権を日常生活に根付かせる取組
		教育環境の整備	子ども食堂・フリースペース・わいわい広場など子どもの現状に合致する取り組みの有効的な運用
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
○確かな学力を身につけた子どもを育成する。	・学力向上のために地域と連携し宿題ボランティア・子ども食堂の提供など組織的な取組をする。 ・テーマ研究から他教科へ波及する研究体制を加速させるとともに教材の共通フォルダの共有化を進める。 ・昨年度全国平均との差が15ポイント以上あったものを10ポイント以下を目指す。 ・図書の本の魅力的な貸出を工夫し、昨年度の貸し出し本数の10%アップを目指す。	◎地域の方々の力を借りて子ども食堂に加えフリースペースもオープンでき教育委員会表彰も受賞できたと考えている。○共通フォルダは徐々に整備されており来年度に向けて大きな教育遺産になると考えている。また多教科への波及効果をあげる研修体制も定着してきていると感じている。 ●全国平均との差は縮まらないままであった。◎図書館利用推進については図書司書の先生と連携して取り組み貸し出し状況の大幅アップにつなげることができた。	
○基本的な学習規律、規範意識を身につけた子どもを育成する。	・月1回のテレビ朝会で図書館指導を中心とする学習規律・生活習慣の育成の時間をもつ。 ・成功体験の場として全校表彰を学期毎に設定し全校集会で表彰することにより意欲を高める。 ・学期ごとに生活習慣のめあてを提示し達成率80%を目指す。	○月に1回の朝会に図書館指導をいれることにより図書の貸出数を大幅にアップすることができた。 ○全校表彰が定着し表彰することにより自己肯定感のアップにもつながり自立促進がはかられている。 ●生活習慣を高めるため月ごとの目標だけでなく2学期からは全体目標(わすれもの0)も作り取り組み、70～80%の達成ができたが学年によりばらつきもみられるようだ。	
○教育環境の整備を実行することで子どもの育成を期す。	・大規模改装工事終了を受けて今年度は校内・備品整備を進め総合的な教育環境の整備に努める。 ・図書館の整備を進め子どもの関心をひく環境整備を図書司書と連携して実行し本の貸出増につなげる。 ・通級指導教室と特別支援指導を連携して子どものニーズに合致する改善計画に取り組むことで配慮を要する児童への育成につなげる。 ・ホームページを各月ごとに更新し情報発信をしていく中で保護者・地域との連携に取り組む。	○今年度は箱よりも中身の充実に入れ、図書の冊数の大幅な増冊や来客用のスリッパなどを整備してきた。またホームページに関しては毎月更新することで情報発信できた。●通級指導教室と特別支援教育を連携させ配慮を要する児童への対応方法や取り組みを少しずつ構築できたが課題も多い。	
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
○集団の時の挨拶のできていない子が高学年にいる。さらに挨拶の励行を進めていくことが大事だ。 ○学校管理課賠償責任などを導入したことは子どもの安全安心な生活の上で評価できる。 ○学力の向上が大きな課題である。語彙力をつけるための読書活動の充実は今後も継続して実施してもらいたい。 ○体力の向上も本校区の大課題である。学校・地域と連携し体力向上のための手だてなども一緒に考えたい。			